

R6優良現場コンテスト 特賞受賞コメント

ゴールド賞 札幌トンネル(岩田地崎)

技術部

岩間

卓也



この度は、このような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

ゴールド賞を受賞できたのは、現場に関わった職員や地質調査員の皆様、協力業者様のご支援の賜物だと思っております。

札幌トンネル(岩田地崎)はR4度からボーリング調査を開始して、今年で4年目になります。調査回数は全43回(5,100m)で、現在33回(約4,000m)まで調査を行いました。

札幌トンネル(岩田地崎)は札幌側(1,000m)の増工が決まっており、あと2年ほど工事が続く予定です。

昼夜勤の土日施工のため、管理職員が不足することがあり、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご協力お願いいたします。

今回の受賞を胸に、これからも現状に満足することなく、さらなる高みを目指して精進してまいります。今後とも応援よろしくお願いいたします。

シルバー賞 赤平トンネル

土木部 木村 優仁



この度は、皆様の投票によりシルバー賞を頂くことができました。誠にありがとうございます。このような賞をいただくことができたのも設計から携わっていた松嶋部長や施工の際に手伝っていただいた伊藤副部長や金子さんの助けがあったからです。また、施工していただいた下請業者や元請さんの協力があったって成果を上げられる施工ができました。現場に関わって頂いた方々に心から感謝申し上げます。

当現場は、赤平市にある用水路トンネルの補修工事で、メインの工種は表面被覆工3,314m²、それに付随して、断面修復やひび割れ補修、目地補修がありました。工区は3つあり、他に、砂川市の焼山水路橋と駄馬の沢水路橋の補修もありました。

赤平トンネル補修は、2年前の空知太暗渠の上流にある水路トンネルの補修でした。下請業者は空知太暗渠で施工を行った業者と同様でしたが、赤平トンネルは底板が水平ではなくインバートになっていて、ローリングタワーで作業するには非常施工しにくい環境で働いていただきました。しかし、そんな環境でも工程に遅れが出たり、大きなトラブルもなく無事に工事を終わらせることができました。これは、元請さん、協力業者、職員のそれぞれが協力し合ってきたことだと思います。

最後になりますが、今回投票していただいた皆様、本当にありがとうございました。今回の経験をこれからの現場に生かして、今年度の工事もしっかり頑張っていきます。

ブロンズ賞 札内幹線

管更生部

富野 尚志



この度、皆さまからの投票によりR6.優良現場コンテストで「ブロンズ賞」を頂く事ができました。「SPR工法」としては2年連続の受賞となりました。

当現場は幕別町および帯広市の生活污水が流れる「下水管」の補修および管路耐震化を目的とした4年計画、全施工延長1.6kmにおよぶ管路更生工事の2年目となります。

設計内容は既設管径φ800mm(これはおよそ子供がプール等で使用する浮き輪の直径と同サイズ)を更生管径φ730mmで製管と注入を行う管更生工法です。本年度より自立管による更生工法に変更となりました。

これは既設管への残存強度が期待できない老朽管への施工方法となります。

上記左の写真は発注者による段階確認（施工前の内径確認）の状況です。実際の施工は污水が30%以上流れるこの小さな管内の中で行われることを考えると、施工班にとっては本当に過酷な現場だなと感じます。

現場は住宅街での夜間施工となり、アパートの目の前であったり民家の門の前であったりと地域住民の方々との関係性も重要でした。

施工場所に向かってみたら普段なかった一般車両があり、工事車用が設置できない、、など。

そのため元請け会社様と協力をして朝や昼間、夕方など住民の方に出る時間帯を探し、日程や時間、どんな状況になるかを説明したうえで住民の方にも協力をお願いして回る日々でした。

そして豊嶋部長の基、直営班の佐藤社員と協力業者の全員による頑張りで無事に工期内に終わることができました。また住民の方からも「長い間、お疲れ様だったね」と言って頂けるなどたくさんの方に助けられながら終わられたのはとてもよい経験となりました。

役職員をはじめとする多くの皆さまからの投票、本当にありがとうございました。今後もこの経験を大切に現場に取り組んでいきたいと考えています。

R6優良現場コンテスト エントリー賞受賞コメント

エントリー賞 川端地区

土木部 伊藤 貢

今回、優良現場コンテストのエントリー賞を頂きありがとうございました。川端地区の工事は、当初推進工および発進・到達立坑坑口の地盤改良（薬液注入工）でしたが、当初設計での鋼矢板施工が不可能でありオーガー併用の圧入工法へと変更したため、矢板周りの浸透流への対策が必要となりました。当社では薬注工法の追加を提案し、採用頂くことが出来ました。この結果、立坑掘削後は矢板周り及び底板部から地下水の流入が抑えられドライ施工が可能となりました。また地盤改良工の変更を提案する際には、坑口の改良範囲が過大に設計されていたため、必要な範囲に改良範囲を縮小し施工費の増加を可能な限り抑えるように提案したため発注者にも容易に提案を受け入れて頂くことが出来ました。

併せて、今回推進工で施工した「泥濃式推進工法」は比較的新しい工法で道内での施工実績が少なく、自分自身では初めての施工であったため非常に勉強になりました。

今回の受賞を糧に、今後ともより良いモノづくりができるように努力いたします。



エントリー賞 オロフレ第5覆道

土木部 林 元司・環境防災部 山田 智生

この度は、令和6年度優良現場コンテストでエントリー賞をいただき誠にありがとうございます。

この現場は、前年度も同じ覆道の補修工事を行い、覆道の劣化防止の工事であります。前年度は、吊り足場に大型トラックの荷物が吊り足場と接触し、今回施工時は吊り足場の内空高さを0.2m上げての施工となりました。施工を行っていただいた施工業者の方には大変不便をかけましたが、降雪量が多くなる前に施工完了することができました。

この工事の続きは残念ながらありませんが、次回道路上の吊り足場の場合には路面状況等の確認を行い内空高さを決めたいと思います。

選考していただき本当にありがとうございました。



エントリー賞 白川浄水場

環境防災部

檜山 康宏

この度優良現場エントリー賞受賞ありがとうございます。部長の立場で受賞するのは、心苦しいのですが皆さんの投票により10現場に選ばれましたこと感謝しております。当作業所は札幌市南区の白川地区にある浄水場の増設工事です。

西松建設・中山組特定建設工事jVより受注しました、切土法面補強土工事です。ヒロセ補強土(株)のスーパーダグシム工法という補強土工法で設計された特殊な鉄筋挿入工です簡単に説明すると自穿孔式ロットでセメントミルクを削孔水として施工する感じです。最初は試行錯誤を繰り返し、現在削孔長8.658m(1.513本)モルタル吹付10.837㎡まで完了しています。残り534m(110本)吹付304㎡を完了めざし施工しています。最後まで無事故で完了できるよう元請さんと協力業者さん共々努力して参ります。



エントリー賞 稚内急傾斜

環境防災部

木下 道弘

この度 R6優良現場コンテストエントリー賞を頂きありがとうございます。

この工事は2回目で、1回目の施工の時は土留杭の施工本数が少ない割に機械の移設・土留杭の搬入移設のため、クレーンが常駐となり、クレーン代が掛かりました。今回の施工時は、使用目的に応じてクレーン能力を選定し、使用回数を減らすよう、細かな打合せを行い現場を進めました。

今回の土留柵の工事は、数年続きます。これからの施工箇所は、距離があり、やりにくい所が残っています。現場に乗り込んだ時は、元請・協力業者と密な打合せを行い、現場を進めて行きたいと思います。



エントリー賞 力昼防災

環境防災部

本多 忠高

この度は皆様の投票によりエントリー賞をいただくことができ、誠にありがとうございます。元請様、下請施工業者様のご協力のおかげでこの賞を受賞することができました。

当該現場はラス張り2000m²・法枠工3000m・植生工（有機4・6cm）1700m²を施工した現場です。問題点は法切が遅れ、法枠工、植生工を施工する日数が限られたことです。

現場は海岸沿いにあり、毎年12月になると強風で施工が不可能になるので、施工業者に増員をお願いし、契約工程内で収めた現場でもありました。

私が他現場に行く時は松吉主任、山田主任が来てくれて助かった現場でもあります。

平成26年から11年継続している現場ですが、今年の令和7年で終了です。寂しい思いもありますが、この実績を武器にし、留萌エリアで元請様との信頼、受注を継続出来るように努力していきます。



この度はエントリー賞に選出いただき、ありがとうございます。

豊富東部地区は(株)アサヒテクノの特許工法であるスーパーウェルポイント工(以下SWP工)による地下水の低下を目的とした現場でした。私はSWP工の施工経験がなく、着工前はどのように現場を進めていけばよいかと不安でしたが、元請けをはじめ協力業者の方々のご協力のお陰でとてもスムーズに施工が完了しました。

現場で大きな問題は起こりませんでしたが、小さなトラブルはいくつかありました。一番印象に残っているものは、孔壁保護管が地盤に締めこまれ、抜き差ししなくなりました。当初の想定よりも地盤が緩く、保護管自体の数も不足しました。バイブロハンマーを苦小牧、保護管を札幌で調達し、トラブル発生の翌日から施工を再開することができました。バイブロハンマーは3.7kWの小型のもので北海道のカナモトでは2店舗しか所持しておらず、最も現場から近いところが苦小牧でした。協力業者の方たちに機材を調達に行ってもらったのですが、昼の11時に豊富町を発ち、帰ってきたのが翌1時だったと翌日の現場で聞きました。工期を遅延させることなく無事に施工が完了できたのも、協力業者であるアサヒテクノさんと八戸地下開発工業さんのご助力の賜物です。

また、今回の現場ではSWP工の施工方法を習得するために直営班の藤本さん、和田さんに現場についてもらい、機械の組立や管の溶接、井戸の洗浄などを経験してもらいました。本多副部長にも何度も現場に足を運んでいただき、多くのアドバイスを頂きました。

今後は直営班での自社施工を目指して、より多くのSWP工の現場を経験し、理解を深めていきたいと思えます。



エントリー賞 庶路法面

環境防災部 高橋 誠

今回はエントリー賞に入賞させていただき有り難うございます。

R6年度はここ数年の中で小規模現場が多く、やり繰りが大変な内に年度替わりした様な1年でした。

その中で今回エントリー賞に入賞した当現場(庶路法面)は、自分自身未経験の工種(落石防止網工・落石防止柵工及び仮設のモノレール)であり、当初契約時から現場収支が厳しい現場でした。

自分自身は現場に集中して施工方法及び施工管理等を、完璧に習得したい気持ちが大いにありましたが、高規格道路の開通区間のトンネルの坑口上方という現場条件であり、普段の現場より連絡調整及び車輛誘導等の仕事が多かった為、あまり施工に集中出来なかったのが心残りです。現場収支の改善することが頭の隅にあり、現場に集中しきれなかった記憶が多く残る現場でした。

次回のR7年度も優良現場表彰にエントリーされて、上位に入賞できる様に知識を高めていきたいと思いをします。



エントリー賞 川内沢ダム(R6)

ダム部 小泉 大地 ・ 飯塚 達基

この度皆様の投票によりエントリー賞をいただきありがとうございました。

現在現場の方は定礎式を目前に控え慌ただしく進んでおります。現場自体はあと数年で完成予定で堤体の打設は今年中に完了予定となっております。

今後とも元請JV職員や他業者の方々と協力し合い、より良い現場にしていきたいと思いをします。

今後ともよろしくお祈いします。ちなみに写真は塗装作業中の写真になります。

